



伊野小学校

地域を見る・見つめる・考える 2年生 仁淀清流苑

2年生が、仁淀清流苑を訪問しました。2年生からは、ダンス、歌、リコーダー演奏、肩たたきや手作りのプレゼント渡しなどを、お年寄りの方々からは、「かわいいね」「うれしいね」など温かい言葉や優しい表情をいただきました。手拍子や口ずさんだりされるお年寄りの方もおり、それぞれの心が通い合う有意義な交流となりました。



3・4年生 校区へ



3年生、4年生は社会科や総合的な学習の時間を使って、地域の地形や土地利用、交通や公共施設、災害や事故防止など、地域学習を進めています。校区探検や聞き取り学習をすすめるなかで、生活を工夫することや地域住民の願いや思いを考えます。学習を通して、子どもたちには地域社会の一員として地域を大切にすると共に、地域への愛情と誇りを持って行動できる人になってほしいと願っています。

伊野中学校

薬物乱用防止教室を開催しました

7月15日、薬物乱用防止教室が3年生対象に本校体育館で行われました。これは毎年行われていますが、本年度は伊野ライオンズクラブさんの主催で、高知県立大学の学生さん2名も参加していただき、詳しく分かりやすく教えてくれました。

はじめに15分間の映像を見ながら、身体への悪影響について詳しく学習しました。特に一度でも使用すると脳が破壊され、元に戻らないことや、生まれた子どもにも影響が現れることなどを知ることができました。脳に与える作用として3種類あり、抑制作用・興奮作用・幻覚作用など共通して「依存作用がある」ことも知りました。

また、治っても「フラッシュバック」があり脳に記憶させているので治療が大変なこともよく分かりました。薬物使用は重い犯罪でもあり、たった1回の使用でも将来をダメにして、国までもダメにすることを知りました。振り返りとして、生徒代表と学生さんによる「薬物の使用を身近な人に誘われたときの断りかた」を実行い、全生徒で「ダメ。ゼッタイ」を合言葉で締めくくりました。

最後には土佐警察いの警察庁舎の方から高知県の覚醒剤などでの現状や、社会生活の身近なところで使用されていることも知り、改めて薬物にはゼッタイ手を出さないことを誓い合いました。

